

「Corridart」(コリダール)とは、corridor(回廊)とart(美術)の二つのフランス語を合わせた造語です。横須賀美術館地階の回廊型のギャラリーにちなんで名づけられました。

**[特集]**  
**生誕100年 谷内六郎展**  
あなたの街にもあるかも?  
**谷内六郎**  
**モザイク壁画マップ**

**[展覧会紹介]**  
**ビジュツカンノススメ**  
アートを楽しむ4つのヒント

**[この1点]**  
**阿部金剛**  
**《風景》**

**[お知らせ]**  
**「ポケット学芸員」**  
**はじめました**

編集：横須賀美術館／令和3年9月発行  
デザイン：tegsu Inc.  
印刷：ニューカラー写真印刷株式会社  
\*このニュースは8,000部作成し、1枚あたりの印刷費は約47.8円です

横須賀美術館の情報は公式TwitterやFacebook、YouTubeでもご覧いただけます。



谷内六郎「びんのそら」(「こどものせかい」25巻3号、1972年7月、至光社)より  
©Michiko Taniuchi

## お知らせ

## 「ポケット学芸員」はじめました

今年7月から、所蔵品展の一部の作品に、無料スマホアプリ「ポケット学芸員」をつかって読める解説がついています。対象作品は今のところ20数点ですが、今後どんどん増やしていきます。ぜひ、つかってみてください。

### 「ポケット学芸員」とは

番号を入力するだけの簡単な操作で、展示作品の解説などの情報が、お手持ちのスマートフォンに表示される無料のアプリです。横須賀美術館のほかにも、全国のさまざまな博物館や美術館で利用できます。  
(提供：早稲田システム開発株式会社)

### 高校生が音声を担当しました

谷内六郎さんまつわるいくつかの解説は、音声で聞くことができます。アナウンスは、横須賀市立総合高校演劇部の皆さんが担当しました。



ダウンロードはこちらから



イラスト©星見カモ(Hoshimi Cammo)

## この1点

## 阿部金剛《風景》

1933年 油彩・画布 当館蔵



阿部金剛による本作《風景》は1933年に描かれた、現存する数少ない戦前の油彩画の1点です。装飾を排した建物、どこも古代遺跡を思わせる建築物、そして水平線とぼんやり明るい空。当時流行していたフォーヴィスムとは異なり、絵肌は平滑で、単純化した画面構成が特徴的です。日本近代美術史において、阿部金剛はシュルレアリスムと呼ばれる新傾向の画家の一人と位置付けられています。しかし実際には、彼は幅広い分野に関心をもち、それらの領域を自由に行き来していたことが分かります。ここでは、阿部金剛の歩みを振り返り、1930年前後の画業を含めた幅広い活動を追ってみたいと思います。

1900年に岩手県盛岡市に生まれた阿部金剛は、東京府立第一中学を卒業し慶應義塾大学文学部予科に入学します。父・阿部浩は衆議院議員、貴族院議員を経て東京府知事を務めた政治家であり、阿部金剛も若い頃は外交官を目指していました。しかし本人の言葉によれば、肋膜炎を患い、長く郷里の山荘に暮らすようになってからは、美術や音楽や文学に親しむようになったそうです<sup>1</sup>。その後大学を中退して岡田三郎助に洋画を学び、1925年に渡仏すると、アカデミー・ジュリアン、アカデミー・ランソンに通って、ロジェ・ビッシェールの指導を受けました。

1927年に帰国すると、2年後に同じく新進画家の東郷青児(1897~1978)と紀伊国屋画廊で二人展を開催し、阿部金剛は作品のタイトルにフランス語で「無」や「空」を意味する「リアン」とつけました。この着想が当時、竹中久七(1907~1962)ら詩人たちと共鳴し、詩誌「リアン」が生まれます。阿部金剛はこの後、竹中ら詩人ともよく交流し、彼らの発行する雑誌や書籍の装幀を手がけています。また1929年の第16回二科展で阿部金剛、東郷青児、古賀春江、中川紀元らが出品した作品は、日本で最初のシュルレアリスムの絵画として脚光を浴びました。これらに描かれた飛行機や軍艦などのモチーフに機械主義的表現が認められ、シュルレアリスムであると同時に都会的なモダニズム絵画であることが指摘されています<sup>2</sup>。

阿部金剛は、油彩だけではなく先に述べたように多くの書籍や雑誌の装幀を行っていました。他にも映画雑誌「映画往来」にもエッセイを数多く執筆し、1930年には古賀春江、東郷青児らと劇団蝙蝠座第一回公演「ルル子」の舞台装置制作にも取り組んでいます。つまり絵画以外にも文学、グラフィック・デザイン、舞台美術、映画とジャンルを横断した関心、活動を積極的に展開していたのです。こうした総合芸術への志向は、昭和初期の都市文化の隆盛を背景として、芸術と社会との関わりを模索する試みであったのでしょうか。(学芸員・工藤香澄)

\*企画展「ビジュツカンノススメ」展で展示されます。

横須賀美術館の所蔵作品の中から、毎回1点を選んで学芸員がくわしく紹介するコーナーです。



# 谷内六郎 モザイク壁画 マップ

あなたの街にも  
あるかも・・・？

「週刊新潮」表紙絵で人気者となった谷内六郎さん。新潮社の広告を兼ねたモザイク壁画が、あちこちの書店を飾るようになり、評判の良さから書店以外にも設置されるようになりました。みなさんの記憶の中にも、六郎さんの作品と知らずに見ていた壁画があるかもしれませんね。ここでは、現在でも人々の暮らしの中で愛され続けている、六郎さんのモザイク壁画をご紹介します。近所にお出かけの際に、立ち寄りてみてはいかがでしょうか。\*見学の際には、ご自身と周囲の安全に注意し、お店や周辺のご迷惑にならないよう、ご配慮をお願いします。

## 展覧会情報

The 100th Anniversary of his birth/  
Taniuchi Rokuro ; Endless Dreams  
令和3年度第3期所蔵品展特別展示

## 生誕100年 谷内六郎展 いつまで見てもつきない夢

会期	2021年9月25日(土)～12月12日(日)
開館時間	10:00～18:00
休館日	10月4日(月)、11月1日(月)、12月6日(月)
主催	横須賀美術館
協力	谷内達子、谷内広美、株式会社 新潮社
後援	東京新聞
観覧料	一般380(300)円、 高大生・65歳以上280(220)円、中学生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金

## プロフィール

## 谷内六郎

Taniuchi Rokuro 1921-1981

東京生まれ。1955年、第1回文藝春秋漫画賞を受賞。翌年に創刊された「週刊新潮」の表紙絵作者に抜擢され、1981年に本人が亡くなるまで描き続けた。1975年には、観音崎公園の近くにアトリエをかまえてしばしば家族とともに滞在した。2007年に開館した横須賀美術館・谷内六郎館では、年4回の展示を通じ、そのユニークで抒情にあふれた作品世界を紹介している。



MAP 1 東京都北区・赤羽(赤羽3-5-6)  
《砂山》1969年  
堀越ビル(旧金竜堂書店)

六郎さんのモザイク壁画としては第2号で、現存するものでは最も古いものと考えられます。現在は書店としては営業していません。建物がある赤羽交差点付近は、1972年まで存在した旧都電赤羽線の終点となっていました。



MAP 2 東京都港区・表参道(北青山3-5-22)  
《傘の穴は一番星》1975年  
山陽堂書店

おしゃれな人々が闊歩する表参道交差点に、ひときわ異彩を放っている巨大壁画。じつは、現在の壁画は2代目で、オリンピック直前の1963年に設置された初代壁画《風船》が、六郎さんのモザイク壁画の第1号でした。



MAP 3 東京都八王子市・八王子駅北口(旭町2-11)  
《水面のライト》1975年  
くまざわ書店 八王子店

くまざわ書店本店として開店した際に設置されました。八王子駅前のランドマークとして親しまれています。  
\*モザイク壁画の保護のために、現在は同じ図柄のシートを上から貼り付けています。



MAP 4 東京都世田谷区(千歳台4-24-1)  
《芽生え》1979年  
千歳台小学校

千歳台小学校の開校を祝って制作された壁画です。小学校を建設する際に発掘調査された千歳台遺跡をモチーフとし、水のほとりて平和に暮らす古代人の家族が描かれています。  
\*小学校の敷地内には立ち入らないでください。



MAP 5 東京都新宿区・神楽坂(矢来町62-2)  
《なかなかどかない》1985年  
新潮社別館

六郎さんの突然の死を悼み、建物の玄関前に設置されました。原画は、昭和47年版新潮社カレンダーのために描かれたもの。



MAP 6 東京都世田谷区(站公園1-2)  
《春の終点》1981年  
世田谷美術館内

もともとは、横尾忠則さんが発起人となって企画した「谷内六郎全国縦断回顧展」のために制作されたもの。その後谷内家から世田谷区に寄贈され、1986年の世田谷美術館開館時から地下1階創作広場に向かう通路に設置されています。



MAP 北海道 小樽市(旭町3-1-12)  
《芽の出る音》1972年  
苫小牧市科学センター

北海道の長い冬が終わり、雪を割って植物が芽を出す春が訪れました。木の枝を鳴らす春風が弦楽器の音に、砂浜に寄せる波がピアノの演奏に見立てられ、子どもたちが輪になって踊ります。センターの開館を祝って、中村重信氏から寄贈されたもの。



MAP 富山 富山県富山市(総曲輪3-2-24)  
《立山の早春》1972年  
旧 清明堂書店本店

建物に入るとすぐ左手の壁の上部いっぱいに設置されています。立山連峰を背景とし、雪を割って芽を出す植物と、春の訪れを喜ぶ富山の子どもたちが描かれています。  
\*現在は「100円ショップ シルク 総曲輪店」として営業しています。



MAP 静岡県 静岡市(南区呉服町2-5-5)  
《西洋館の思い出》1978年  
旧 谷島屋書店呉服町本店

1階から2階へのぼる吹き抜けの階段の壁面を、レンガ造りの西洋館の外壁に見立てたまま絵風の壁画です。両開きのヨロイ窓からは、子どもたちが顔をのぞかせています。  
\*現在は「100円ハウス レモン 呉服町店」として営業しています。



## まだまだあります！

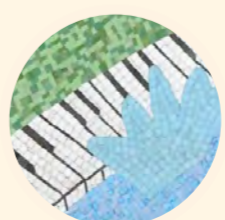
## 大切に守っていききたい六郎さんの壁画たち

通常非公開の施設や、個人のお宅にも、六郎さんの愛情あふれるデザインの壁画がのこされています。  
\*一般の方は敷地内に入れません。外からの写真撮影もご遠慮ください。



MAP 東京都調布市  
《タイトルなし》1977年  
京王福祉会双葉保育園内

園舎内の階段吹き抜けの壁に設置されています。空に虹のかかる緑の野で、子どもたちと動物たちがながく汽車や気球に乗っています。水辺には鍵盤をたたきざぶも。



MAP 東京都世田谷区  
《動物たち》1979年  
松原北保育園内

園内のプールサイドに設けられています。子どもたちが林を抜けていくと、動物たちによる演奏会が行われていました。木々の間をぬって大きな虹がかかり、速くには汽車が走っています。



MAP 東京都世田谷区  
《上之台遺跡》1979年頃  
個人邸

六郎さんは、自宅にもモザイク壁画をつくっています。家を改築した際に水がめや高坏など、弥生時代後期の土器(土師器)が出土したことを記念して、土器と子どもたちを描きました。





# ビジュツカンノススメ



アートを楽しむ4つのヒントとは？  
ネコの「ようよう」とトリの「こうこう」のコンビが、  
美術館の楽しみかたをナビゲートします。



イラスト：樋口たつ乃

## 1 アトリエのひみつ

横須賀市内・田浦のアトリエで、戦後の20年間を暮らした洋画家・朝井閑右衛門。そこから生みだされた作品のほか、当時の写真や身の回りのものから、ユニークなアトリエでの創作のようすを探っていきます。



朝井閑右衛門《田浦のアトリエ》制作年不詳 水彩・紙 当館蔵



## 2 絵画とブックデザイン

20世紀のはじめ、ヨーロッパで次々におこった新しい芸術運動は、大正から昭和にかけて、日本の若い文学者、美術家の心を大きく揺さぶりました。1920～30年代のモダニズム絵画と、画家が手がけた装幀を通じて、美術と文学の活気のある交流を見ていきます。



古賀春江《窓外の化粧》1930年 油彩・カンヴァス 神奈川県立近代美術館蔵



モオリス・デコブラ『恋愛株式会社』1931年 県立神奈川近代文学館蔵、装幀：東郷青児 ©Sompo Museum of Art



## 3 作品の作りかた

美術館で見る作品は、どのように生み出されているのでしょうか？作品の素材や技法に注目しながら、5人の現代作家の制作のプロセスをたどります。また、横須賀美術館のコレクションをつかったアートカードや、触図などの鑑賞教材をご紹介します。



滝波重人《汽水域04-C-8》2004年 作家蔵

どんな方法で描かれている？



内田あぐり《分水界》2020年 作家蔵 撮影：内田亜里

## 4 美術館を探検

美術館を訪ねる楽しみは、展覧会だけではなく、建物の外に設置されている作品や、開館、閉館のときに流れるふしぎな音楽、ひそかなファンも多いピクトグラムなど、横須賀美術館の隠れた魅力をあらためて発見します。



廣村正彰《横須賀美術館ピクトグラム よこすかくん》2007年 photo: Yasuo Kondo / amana photography

## ビジュツカンノススメ アートを楽しむ4つのヒント

会 期	2021年9月18日(土)～11月7日(日)
開館時間	10:00～18:00
休 館 日	10月4日(月)、11月1日(月)
無料観覧日	11月3日(水・祝)
観 覧 料	一般1000(800)円、 高大・65歳以上800(640)円、 中学生以下無料 ※( )内は20名以上の団体料金 ※高校生(市内在住または在学に限る)は無料 ※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を お持ちの方と付添の方1名様は無料